管機連Daily News

2026年10月23日（金）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆中途求人倍率2.89倍、9カ月ぶり高さ 商社で即戦力への需要増

・パーソルキャリアが発表した9月の中途採用求人倍率は前月比0.03ポイント高い2.89倍。5カ月連続で上昇し、2025年12月以来9カ月ぶりの高さ。商社を中心に即戦力人材を求める動きが活発に。転職サービス「doda（デューダ）」を通した中途採用の求人数を登録している転職希望者の数で割った。求人数は前月比0.3%増えたが転職希望者数は0.7%減。

◆「短期」定期預金に資金殺到、31年ぶり高水準 利上げ加速で高金利狙う

・預入期間が数カ月程度と短い定期預金に資金が集まっている。「3カ月以上6カ月未満」の残高は44兆円と過去1年間で26%増え、31年ぶりの高水準となった。日銀の利上げ加速を受け、より迅速に預金金利が上がる商品に預け替える動きが鮮明に。金利に敏感な預金者を取り込もうと、銀行の競争も熱を帯びている。

◆「下請けいじめ」是正、公取委・監督官庁が全国調査 第1弾は運送業

・公正取引委員会は各省庁と組んで下請け取引の適正化に乗り出す。第1弾としてトラック運転手による荷物の無償の積み下ろしなどの慣行が残る運送業を国土交通省や経済産業省と共に全国調査する。監督官庁と連携して「下請けいじめ」の是正をめざす。公取委と国交省、経産省は情報共有する会議体を設け土台に今秋にも調査を始める。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆委託広がる通信インフラ、サイバー防御に死角 総務省が検討会初会合

・総務省は通信事業者のサイバー防御やデータ保護を議論する有識者検討会の初会合を開いた。通信設備の外部委託やクラウド活用によって自前主義をやめる動きが広がるなか、構造変化に対応した有事への備えが必要に。外部の事業者が多く関わり、セキュリティー対策の責任の所在が不明確になっている面がある。サイバー防御の弱点となりうる。

◆ハウスメーカー9月受注、増加は3社にとどまる

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した9月の中古マンションの平均希望売り出し価格は東京都心6区（千代田・中央・港・新宿・文京・渋谷）で前月比1.6%安の70平方メートルあたり1億7786万円だった。5カ月連続で下落し、調整色が強まっている。調査は事務所や店舗用を除いた専有面積が30平方メートル以上のファミリータイプの物件を対象。

◆9月の工作機械受注60%増、AI需要で過去最高額 過剰投資に懸念も

・日本工作機械工業会が発表した9月の工作機械受注額（確報値）は、前年同月比60%増の2232億円。プラスは15カ月連続。統計を始めた1988年以来、単月の受注額では最高額となった。海外受注は67%増の1592億円だった。2026年8月（1463億円）を上回り、単月で過去最高額を更新した。このうち北米は504億円で統計開始以降、初めて500億円超。

≪ 注目商品 ≫

■リンナイ、シニアのガス火調理をサポート

・ガス火調理の不安を解消するため、認知症当事者や介助者の声を取り入れて開発された「SAFULL+」シリーズに、ガステーブルコンロを追加。聞き取りやすい音声ガイドと大型ごとくを採用。鍋を置きやすくし、バーナーに触れるリスクを軽減。



■DAIKEN、不燃性能とビス保持力を備えた壁下地材

・不燃性能とビス保持力を備えた壁下地材「不燃ダイライト複合板BK（壁下保くん）」を発売。非住宅分野では、内装制限や防火の観点から壁下地材にも不燃性能が求められるケースが増えている一方で、ビス保持力や施工性を備え、かつ安定的に調達できる下地材が求められている。



■岩崎電気、光害対策形LED投光器「レディオック フラッド アヴァン 光害対策形」

・光害対策形LED投光器「レディオック フラッド アヴァン 光害対策形」をリニューアルし受注開始。野生生物や夜空、居住者・交通への影響に加え、漏れ光はエネルギーの無駄にもつながることから、光害対策形LED投光器の需要が高まっている。

